

学会記事

◎通常総会

昭和 33 年 5 月 24 日 9 時 30 分から早稲田大学小野記念講堂において開催、有権会員数 11 815 名、うち委任状 967 名、出席者 106 名、計 1 073 名（定款第 6 条照合）

- 1) 第 1 号議案 昭和 32 年度事業報告 承認。
- 2) 第 2 号議案 昭和 32 年度決算報告 承認。
- 3) 第 3 号議案 准員制廃止にともなう定款の一部改正（本案に対する賛成 1 052 名、不賛成 21 名）で可決。
- 4) 第 4 号議案 名誉員推挙：福留並喜、橋本敬之、牧野雅楽之丞、田中 豊の 4 君を推薦、満場一致可決。
- 5) 昭和 32 年度土木賞授与：青木委員長から経過説明のち別掲のとおり学会賞を正員 扇田彦一君、奨励賞を准員 小坪清真君、正員 木下良作君に授与。
- 6) 昭和 33 年度新任役員の紹介（別掲）。
- 7) 内海会長記念講演：わが国水力の将来と水力技術者の使命。

以上をもつて総会を 11 時 30 分終了した。

◎第 13 回年次学術講演会

早稲田大学 19 号館において第 1 日 5 月 24 日 14.00～17.30 時 3 教室、第 2 日 5 月 25 日 8.30～17.30 時 5 教室により、第 I 部 47 編（コンクリート 14、都市計画 3、衛生工学 8、応用力学 22）、第 II 部 44 編（土質および基礎工学）、第 III 部 43 編（測量 4、河川および砂防 6、港湾 3、発電水力およびダム 5、水理および水文学 25）、第 IV 部 31 編（橋梁および構造工学）、第 V 部 30 編（道路 19、鉄道 11）合計 195 編の論文発表があり各室 200 名以上の聴講者で盛況であった。

◎懇親午餐パーティー

5 月 24 日 11.50～13.30 時大隈会館において開催、参加者 125 名、新旧役員送迎の挨拶、内海会長挨拶、米田新会長挨拶、開宴、ついで新名誉員、土木賞受賞者、各地区代表のテーブルスピーチが行われ盛況であった。

◎見学会（詳細次号に報告）

A 班 5 月 26・27 両日（KK 日立製作所日立、多賀両工場、海門橋、東海村原子力研究所）参加者 64 名。

B 班 5 月 26 日（京浜各港、東電新東京火力発電所、東京ガス豊洲工場）参加者 57 名。

C 班 5 月 26 日（地下鉄工事現場、日本ビール目黒工場）参加者 93 名。

D 班 5 月 26 日（川崎港埋立工事現場、味の素工場、日産自動車工場）参加者 55 名。

◎定例常議員会（昭.33.5.23）出席者：内海会長、米田副会長、浅野、小池、嶋、竹内、藤田、入江、樋浦、

永井の各常議員、那波、真田、小野、丹治の各名誉員、渡辺西部支部長、東、飯吉、渡辺の各理事、委任状 25 通（粟津、川口、五味、小村、林、横尾、有江、伊福部、中村、平井、足立、川村、堀場、稲垣、米谷、中道、秋草、佐々木、庄司、西村、上ノ土、江里口、坂田、田賀、山崎）常議員総数の過半数となるので常議員会成立。

議事：1）昭和 33 年度会長、副会長、理事を選挙の結果、次のとおり決定した。

会長	工博 米田 正文君	建設省建設事務次官
副会長	工博 本間 仁君	東京大学教授
理事	井口 昌平君	東京大学助教授 生産技術研究所
〃	工博 小野竹之助君	日本大学教授
〃	西嶋 国造君	帝都高速度交通営団 建設部工事事務所長
〃	工博 比田 正君	運輸省港湾局 建設課長
〃	藤村久二郎君	鹿島建設 K K 常務取締役

2）昭和 32 年度事業報告案（東総務部長説明）を承認、3）昭和 32 年度決算報告案（飯吉経理部長説明）を承認、4）名誉員の推挙候補者として福留並喜、橋本敬之、牧野雅楽之丞、田中 豊の 4 氏を決定。

報告：1）5 月 24 日の通常総会に提案する准員制廃止にともなう定款の一部改正案に対する 5 月 19 日現在の賛否数を報告、2）関東地区常議員半数改選の結果を報告。

◎第 12 回理事会（昭.33.5.12）出席者：内海会長、東、中安、飯吉、渡辺、国分、逸見、米屋、野田の各理事。

議事：1）4 月中の行事その他報告、2）次期後任理事候補者について、3）昭和 32 年度事業報告および決算報告案について、4）各種委員会委員の交代について、a）会誌抄録委員会：八十島委員長の後任に樋口芳朗君、堀井委員の後任に津野和男君、湯浅委員の後任に福沢清行君、渡部委員の後任に新谷洋二君を承認、d）原子力土木技術委員会：福田委員長の後任に安芸一君の委嘱を承認、c）会誌編集委員会：糸川委員長の後任に田原保二君の委嘱を承認、5）関東地区常議員半数選挙開票日および立会理事について、6）定例常議員会開催日および会場について、7）通常総会次第について、8）懇親パーティー次第について、9）役員の見学会その他の出席予定について、10）「交通技術」と会誌交換を承認、11）会費納約者の処置について、12）5 月中の会員入退会を承認（別掲）。

◎各種委員会

1. 第 12 回会誌編集委員会（昭.33.5.21）糸川、丸安正副委員長、森、南、岡崎、南部（代高秀）、松本（代高橋）、粟津、八十島、奥田（代吉岡）、栗栖（代小野寺）、

安藤, 伊東の各委員, 田原保二氏, 深谷幹事。協議事項:
1) 投稿原稿審査報告, 2) 依頼原稿の件, 3) 委員交代の件, 4) 講座の件, 5) 43 巻 7 号会誌登載原稿を次のとおり予定した。

岩井重久: 原子炉施設の汚染対策(I), 桂川輝長: 鉄骨水平アーチ構造による海面仮締切工法, 樋口芳明: コンクリートの動弾性係数の利用方法, 後藤尚男: 橋梁の耐震設計に関する基礎的考察。

2. 第 12 回会誌抄録委員会 (昭.33.5.7) 出席者: 八十島委員長, 伊能, 岩間 (代小杉), 垣中, 小池, 高秀, 佐藤, 土屋, 堀井, 野口, 矢島, 湯浅, 渡部の各委員, 高橋幹事。議事: 1) 43 巻 6 号登載の目録および抄録 4 編を選定, 2) 委員交代を審議の上堀井健一郎 (後任津野和夫), 湯浅 昭 (後任 福沢清行), 渡部与四郎 (後任 新谷洋二), を決定, 3) 抄録委員会内規を審議の上決定, 4) 科学技術情報センターより文献分類法の説明を聴取, 5) その他。

3. 第 12 回会誌編集小委員会 (昭.33.5.8) 出席者: 丸安副委員長, 南, 尾崎両委員, 深谷幹事。議事: 43 巻 6 号編集について最終審議を行った (82 ページ)。

4. 第 6 回論文集編集各部会 (昭.33.5.8) 出席者: 1 部会—山口, 樋口, 奥村, 大地, 高田, 安浪 2 部会—佐藤, 嶋, 粟津 3 部会—後藤, 三木, 西亀 4 部会—友永, 黒河内, 春日屋, 渡部の各委員および徳平幹事。議事: 各部会ごとに原稿の審査報告および新規論文の審査委員の決定。

5. 第 6 回論文集部会長会 (昭.33.5.15) 出席者: 国分部長, 友永委員長, 山田, 後藤, 山口, 嶋, 市原, 春日屋の各委員, 徳平幹事。議事: 1) 各部会報告, 2) 論文集 58 号 (増大号) 登載予定原稿の決定, 3) 別刷論文集について著者分担金, 定価, 発行部数に関して協議, 4) 編集委員交代の承認, 5) その他。

6. 第 19 回コンクリート示方書解説委員会 (昭.33.5.16) 出席者: 吉田委員長, 国分, 樋口, 後藤, 伊東, 山田, 三浦, 川口, 深谷, 関, 永倉, 丸安の各委員。議事: 無筋コンクリート示方書解説案に対して寄せられた意見について審議した。第 20 回 同 委員会 (昭.33.5.27) 出席者: 吉田委員長, 国分, 川口, 深谷, 後藤, 関, 永倉, 丸安, 伊東, 樋口の各委員。議事: 鉄筋, 道路, ダムの各コンクリート示方書解説案に対して寄せられた意見について審議した。

7. 水理委員会 (昭.33.5.23) 出席者: 安芸委員長, 米屋幹事長, 小川, 坂本, 岩井 (代), 阿部, 林, 岩崎, 松尾 (代上田), 篠原, 永井, 田中茂, 伊藤, 矢野, 田中清, 石原, 久宝, 竹内, 大坪 (代岸), 嶋, 岡田, 佐藤 (代芦田), 高畑, 本間の各委員。議事: 1) 昭和 33 年度「水理学研究の現況」の原稿提出を 6 月末日までに求めること, 2) 第 4 回水理研究会講演会の計画について, 3) 委員の追加について, 4) 来年度 IAHR 総会に参加予定者について, 5) 米屋委員幹事長辞任の申出により

林委員と交代すること。

◎その他

1. 夏季講習会講師打合せ (昭.33.5.7) 出席者: 米屋理事, 講師—有泉, 友永 (代菊池), 小西, 白石, 高林, 水越 (代池田)。

講習会日程: 昭和 33 年 8 月 27 日 (水) ~ 29 日 (金) 決定。

会場: 早稲田大学共通教室に決定。

題目および講師ならびに所要時間:

		(時間)
1. 新らしい鉄道橋	友永 和夫	1.30
2. 新らしい道路橋	小西 一郎	1.30
3. 土木工学におけるラチオアイントープの利用	有泉 昌	1.30
4. 航空写真測量の進歩と利用	丸安 隆和	1.30
5. 真空コンクリート工法	高林 利秋	1.00
6. パイプ ビーム	水越 達雄	1.00
7. テトラポット工法	白石 直文	1.00
8. セルラーコファアダムによる岸壁工法	立石 哲郎	1.00
9. パイプロフローテーション	最上 武雄	1.00
10. 土質安定工法	竹下 春見	1.30
11. 道路施工機械	加藤三重次	1.30

スケジュール:

	8.30	9.00	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00	17.30
27日	会長挨拶	友永	小西	昼食	有泉	丸安	高林				
28日		水越	白石	立石	昼食	最上	竹下	加藤	終講式		
29日	見学会										

講習会名: “新らしい建設工法”

見学先:

1. 真空コンクリート施工道路工事現場
2. 東京電力横須賀火力発電所工事と城ヶ島架橋工事
3. 地下鉄工事と国立競技場
4. 東海村原子力研究所と海門橋工事

講演テキストの作製:

- a) 1 編 B 5 版 10 ページ見当
- b) 原稿 6 月末日までに確実にお願いくることとした。

2. 関東地区常議員半数改選 (開票 昭.33.5.15 立会者: 中安理事), 投票総数 917 通, 当選者次の 10 君, 安藤 栄, 大西清一, 格井保治, 神山 一, 田中正彦, 谷口清治, 友田清三, 前沢 肥, 山口季男, 山田正男。以上により浅野 英, 粟津清蔵, 小川泰平, 川口克久, 河野康雄, 小林 宏, 佐藤信一, 藤田博愛の諸君は任期満了退任。垣本一之, 小池 誉, 五味 信, 嶋 祐之, 竹内俊雄, 林 泰造, 三浦一郎, 横尾誠吾の諸君は留任された。

3. 第 3 回水理研究会講演会 (昭.33.5.23) 日本地球物理学連合の連合講演会として水理研究会の本年度講演会が, 5 月 23 日に国鉄本社 8 階映写室で開催された。この講演会は例年二, 三の研究課題を指定して, 発表論文については詳細に討議するシンポジウム型式をとつて

いる。第3回の題目は、①遷移流、射流、空洞現象、空気混合流、②水文測定（計器および方法を含む）で、発表論文は下記の19編であつた。そのほかに東大生技研の井口昌平君の特別講演があつた。題目の①は水理学上に新しく開拓された分野であり、題目②は「水理学の発達に計測の進歩にともなう」といわれるものであり、多くの優れた研究成果が発表された。当日は聴講参加者が約150名に達し、討議も計28名の質問者が立つて活潑に行われた（司会者：林、本間、篠原、石原）。

講演次第

- (1) 運動方程式と連続の式とを用いて変動する水位の資料から摩擦係数を求める方法について
東大地球物理 木下武雄
- (2) 降水量の測定に関する一試案 中大土木 春日屋伸昌
- (3) 沙流川流域の積雪水量測定について
室蘭工大 境 隆雄
- (4) 土中含水率の長期測定装置の試作について
神戸大土木 田中 茂
" 石原 安雄
" 松梨 順三郎
- (5) 電子管式時間測定器とその応用 神戸大土木 石原 安雄
京大土木 岩佐 義明
" 網川 定
- (1)~(5) 討議
- (6) 射流の水面測定法について 北大土木 尾崎 晃
- (7) 差圧式流速計について 京大土木 岩佐 義明
" 榎木 亨
- (8) 水位、水面勾配、水面流速計式流量計について
北大土木 大坪喜久太郎
" 尾崎 晃
" 農学部 〇堂 腰 純
- (9) 変動圧力の測定装置の試作について
京大土木 石原 藤次郎
" 岩佐 義明
" 〇網川 定
- (6)~(9) 討議
- (10) フランスの水理研究所 東大生研 井口昌平
- (11) 境界層の発達とその応用について 京大土木 岩佐 義明
- (12) 河口付近における水面形について
神戸大土木 石原 安雄
京大土木 江崎 一博
" 〇棋野 文命
- (13) 幅の変化する水路における遷移流の特性について
京大土木 岩佐 義明
岡 鉄 〇村上 温
- (14) 分水点付近における遷移流について
大阪大構築 室田 明
- (15) 砂連停止波と背水の限界点 熊本大土木 藤 芳 義 男
- (10)~(15) 討議
- (16) ダムの仮排水路流入口上流側水位決定の一方法について
電源開発 中山 謙 治
" 〇朱 瑞 源
- (17) 放物線ダムの水理について 東北大土木 〇岩崎 敏夫
日本工営 沢谷 一夫
飯田建設 安倍 理夫
- (18) 堅伸縮シリンダー部をもつL型取水管の水理模型実験と計算
北海道開発 〇森 正 秋 繁
" 山岡 泰 造
" 林 憲 吉
- (19) 空気混合水流の研究 中大土木 〇林 泰 造
" 林 憲 吉
- (20) 滝の水理について（第1部）落下水束の拡散
大阪大構築 田中 清
- (16)~(20) 討議

支部だより

東北支部

◎総会（昭.33.5.14 13時 仙台商工会議所）参加者200余名、1）32年度事業経過および収支決算報告、

2）同 監査報告、3）33年度事業計画および収支予算説明、4）役員改選、5）特別講演：関門道路トンネル工事について 関門国道工事事務所長 住友 彰氏、6）映写会：「東南アジアの旅」「東北の祭」、7）懇親会。

◎役員改選（昭.33.5.14）

支部長：佐藤清見君（留）、常議員：平井弥之助（留）、高木 健（留）、樋浦大三（留）、春成 正（新）の諸君。商議員：久木 刀、杉本三吾、松本文彦、村上岳四郎、三浦文次郎、岩崎敏夫、谷垣 博、米村新之助、門沢利三、小谷一男の諸君。

関西支部

◎第31回総会（昭.33.5.20 15.00~19.00時）参会者32名、1）昭和32年度事業、会計、新役員開票結果報告、2）講演：最近の世界情勢について 朝日新聞論説委員 竹中一雄氏、3）映画「大阪環状線」国鉄大阪工務局提供、4）懇親会。

◎役員改選（昭.33.5.20）

支部長：石原藤次郎君、常議員：石原藤次郎、玉井正彰、藤田駿五の諸君。

関係学協会その他

人事：

- 日本学術会議 会長 兼重寛九郎氏（旧茅 誠司氏）
副会長 中山伊知郎氏（留任）
同 和達清夫氏（旧兼重寛九郎氏）
- 京都市建設局 局長 川勝常次郎氏（旧松倉新太郎氏）
- 衛生工業協会 会長 石川政吉氏（旧畔柳健太郎氏）
- 日本化学会 会長 小竹無二雄氏（旧永井雄三郎氏）
- 日本金属学会 会長 広田喜一氏（旧増本 量氏）
- 日本機械学会 会長 丹羽周夫氏（旧橋本宇一氏）
- 熔接学会 会長 仲 威 雄氏（旧柴田晴彦氏）
- 日本鋳物協会 会長 平岡正哉氏（旧浜住松二郎氏）
- 電気学会 会長 一本松珠磯氏（旧古賀逸策氏）
- 日本鉄鋼協会 会長 塩沢正一氏（旧角野尚徳氏）
- 日本建築協会 会長 尾崎久助氏（旧竹腰健造氏）

行事：

- 精機学会明石記念会 5月6日第1回記念賞贈賞式が開催された。
- 全日本建設技術協会 5月10,11日1958年度通常総会が開催された。
- 日本国有鉄道 5月13日鉄道車両その他機器の展覧会が大井工場で開催された。
- 東京大学生産技術研究所 5月31日創立記念日に際し、研究事項の一端と施設が公開された。なお、講演会および映画会も開催された。
- 日本保線協会 第1回保線学術講演会 5月27日国鉄本社8階映写室にて開催された。
- 日本建設機械化協会 1）第9回定時総会 5月29日ホテル国際観光にて開催された。2）昭和33年度建設

機械展示会 5月15~25日名古屋市長庁前広場で開催された。

日本建築学会 昭和32年度日本建築学会賞贈呈式が5月30日建築会館会議室で行われた。

学会備付図書(国内)一覧(26)

I. 昭. 33. 5. 間に寄贈を受けた分

○東京都建築材料検査所報告(V) 昭31年度検査成績について ○Proceedings of the First Japan Congress on Testing Materials (日本材料試験協会) ○日本セメント技術協会コンクリート委員報告 F-1~F-6 ○同A E委員報告 G-1~G-5 ○同収縮委員報告 H-1~H-3 ○同水和熱委員報告 J-1~J-3 ○同粉末度委員報告 K-15~K-16 ○同混合材委員報告 N-1 および追補 ○工事原価管理: 佐用泰司(鹿島建設技研

出版部) ○竹中式潜函工法(KK竹中工務店) ○防波堤用各種コンクリート塊の耐波性模倣型実験報告(第二港建八戸港工事事務所) ○図書目録 追録1 1958 (電力中央研究所技研) ○1956年度内外雑誌論文題目集覧-土木関係-第2集(同)

II. 昭. 33. 5. 間に購入した分 なし

付記 学会備付図書(国内)一覧(25)は43-5・p. 58に掲載

建設省関係の人事異動

6月1日付で建設省では下記のとおり大巾な人事異動があり、本学会の会長米田正文氏が建設事務次官に就任された。

新任	旧	
建設事務次官	(建設技監)	米田 正文
建設技監	(道路局長)	富樫 凱一
道路局長	(関東地方建設局長)	佐藤 寛政
計画局長	(経済審議庁審議官)	美馬 郁夫
土木研究所長	(中四地建局長)	秋草 勲
関東地建局長	(中部地建局長)	中島 武
中部地建局長	(関東地建工務部長)	梶谷 薫

北陸地建局長	(東北地建工務部長)	三浦文次郎
中国地建局長	(技術参事官)	深谷 克海
四国地建局長	(中四地建工務部長)	山崎 博
技術参事官	(道路局道路企画課長)	高野 務
道路局企画課長	(企画課土木専門官)	尾之内 由紀夫
道路局高速道路課長	(道路公団監理官)	斎藤 義治
退官	(土木研究所長)	伊藤 剛

なお、今回の機構改革により北陸地方建設局および四国地方建設所が新設され、また、地方建設局の企画部、工務部は、河川部、道路部、企画室になった。

会員現在数(昭. 33. 5. 31 現在)

名誉員	賛助員	特別員1級	A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	増加
26	30	16	12	70	114	102	8 688	4 375	939	14 372	162	

昭和33年5月分入退会報告(昭. 33. 5. 1~5. 31)

- 入会 194名(正 27, 准 24, 学生 145)
- 退会 34名(正 17, 准 13, 学生 2, 特3 2)
- 転格 194名(正より名誉へ 4, 准より正へ 146, 学生より准へ 42, 特1 Cより特1 Bへ 1, 特2より特3へ 1)

正員	境 清 吉 君	塩釜市長沢 78	昭和32年11月	逝去	享年 65才
正員	大島 末彦 君*	福岡市草ヶ江町 35	昭和33年5月27日	逝去	享年 64才
正員	磯部 照安 君**	杉並区中瀬町 81	昭和33年5月11日	逝去	享年 48才
正員	渡辺 興一 君	足立区千住桜木町 40	昭和33年4月25日	逝去	享年 27才

(*西日本鉄道KK常務取締役, 昭和25年西部支部長, 26年以降西部支部商議員

**土木設計監理小委員会委員兼幹事)

昭和33年6月10日印刷

印刷者 大沼正吉
編集兼発行者 中川一美
定価 100円

昭和33年6月15日発行

印刷所 株式会社 技報堂
発行所 社団法人 土木学会
振替 東京 16828番

土木学会誌 第43巻 第6号

東京都港区赤坂溜池5番地
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
電話 (35) 5130・5138・5139番